

一般会計

決算報告

問 財政課 内線 216・219

その他 3億9,796万円

議会費	1億4,339万円
労働費	2,110万円
農林水産業費	7,675万円
商工費	1億3,851万円
災害復旧費など	1,820万円

消防費 4億1,218万円

【主な事業】

消防救急等無線整備・維持管理	2,898万円
災害、救急・救助等活動	626万円
消防団の運営、活動	1,636万円

公債費 7億4,266万円

借りたお金の返済	7億4,266万円
----------	-----------

教育費 7億9,960万円

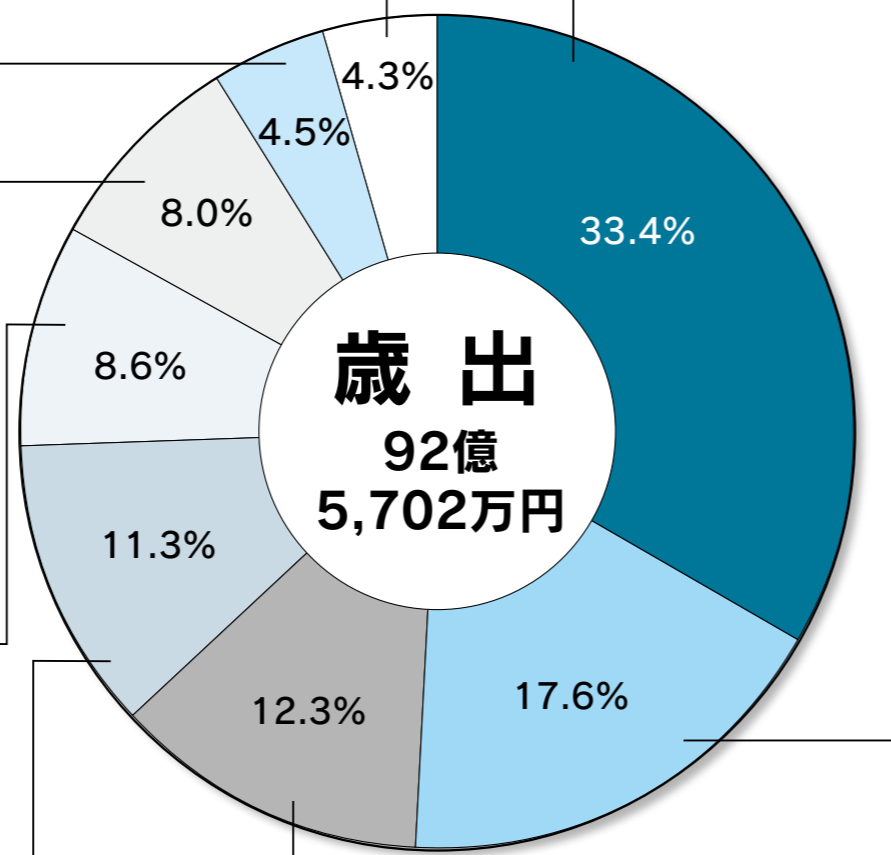
【主な事業】

児童・生徒の健康管理	1,272万円
支援の必要な児童・生徒への教育推進	2,292万円
大磯小学校体育館の耐震工事	4,682万円
国府小学校の改修工事	6,189万円
私立幼稚園就園補助	1,882万円
図書館の施設整備工事	2,871万円

土木費 10億4,361万円

【主な事業】

道水路等の維持管理	2,814万円
狭あい道路の整備	5,557万円
幹線28号線歩道整備	2,673万円
月京8号線整備	2,084万円
通学路の安全対策	1,626万円
町内の公園整備	7,395万円
生活交通の確保・路線バスに対する補助	2,085万円
旧吉田茂邸再建	3,054万円
大磯港の維持管理	2,788万円
下水道事業特別会計の安定した運営	4億5,054万円



衛生費 11億3,942万円

【主な事業】

各種健康診査・健康相談等	2,305万円
予防接種や感染症対策	6,336万円
救急医療(休日・夜間等)	2,224万円
がん検診の推進	2,699万円
ごみ処理広域化	2億8,969万円
ごみの収集・運搬・処理	3億6,783万円
し尿の収集・運搬・処理	9,480万円

※詳細は、町ホームページで公表します。

民生費 30億9,072万円

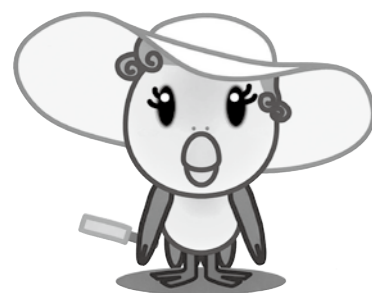
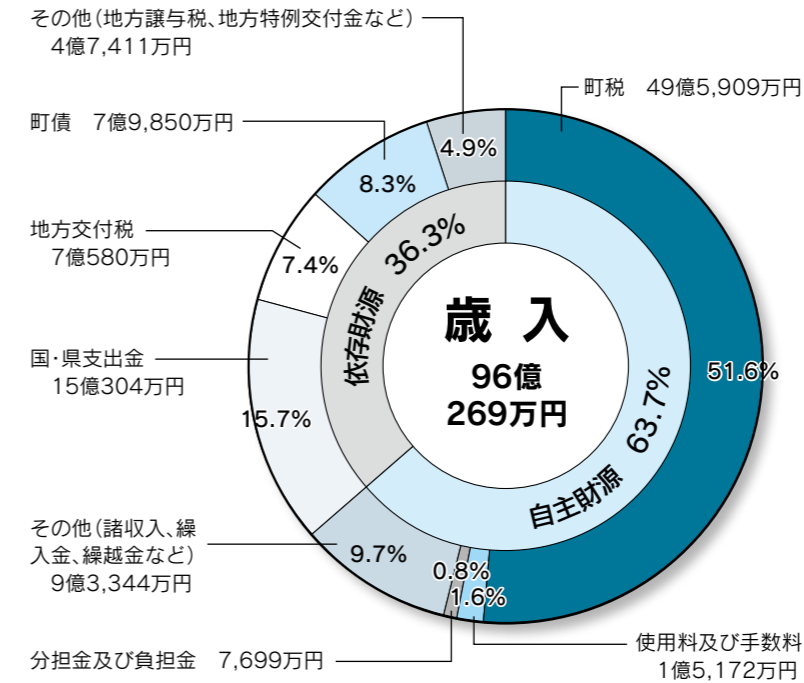
【主な事業】

心身障がいの方の医療費助成	1億8,444万円
障がい福祉サービスの提供	4億 876万円
小児医療費助成	7,497万円
児童手当の支給	4億7,524万円
児童保育委託	1億6,077万円
保育園待機児童対策	1,549万円
国民健康保険事業特別会計の安定した運営	4億6,709万円

総務費 16億3,087万円

【主な事業】

本庁舎・保健センターの維持管理	4,261万円
情報システムの共同化	7,077万円
戸籍住民基本台帳の管理運営	4,691万円
参議院議員通常選挙	1,467万円
地域会館等の維持管理	648万円
防災行政無線整備等の防災対策	3,165万円
自転車駐車場整備・維持管理	2億 963万円



**歳出**

平成25年度の歳出決算額は、92億5,702万円です。前年度と比べ4億6,666万円減っています。

主な理由としては、国からの要請を踏まえた職員給与の減額措置や運動公園整備費の町債の償還終了による公債費の減、駐輪場等整備用地取得に係る土地開発基金への繰出金の減によるものです。

歳出の約30%を占める民生費は、町民の福祉に係るもので、主なものは、医療費助成や児童手当の支給などで、待機児童対策として民間保育所への補助などにより増加しています。

町では、限られた財源のなか事業の優先順位を検討し、必要性・緊急性の高いものに入力事業を実施しました。



**歳入**

平成25年度の歳入決算額は、96億269万円です。前年度と比べ4億5,127万円減っています。

町の収入の根幹となる町税については、法人税の増や制度改正に伴うたばこ税の増により5年ぶりに増加しましたが、町の基金からの繰入等による財源は、前年度より約4億4,088万円減少しています。これに対し、国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられる財源は増加しています。要因として、駐輪場の建設に対する国からの補助金やごみ処理広域化に対する県からの補助金の増加などがあります。

町が行政サービスを維持し、安定した運営を行うためには、自主財源を確保することが必要となるため、町税や新たな財源の確保が課題となっています。

決算の概要を報告します